

27 Feb. 2009



第35号

日米エアフォース友好協会

だ よ り

Japan-America Air Force Goodwill Association

発行：日米エアフォース友好協会

〒162-0842 東京都新宿区

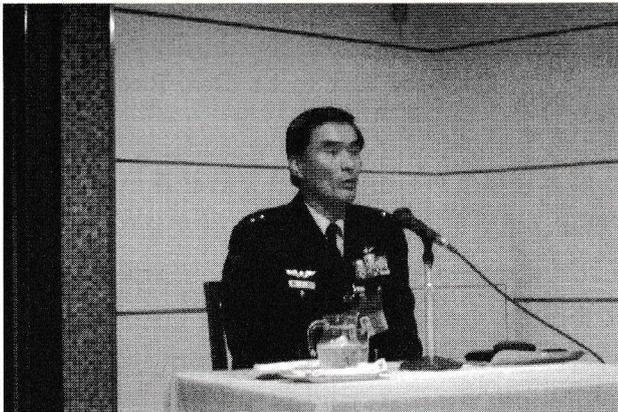
市谷砂土原町 1-2-34KSKビル3F

編集：JAAGA事務局

印刷：財団法人 防衛弘済会

ホームページ：http://www.jaaga.jp

JAAGA講演会：空幕運用支援・情報部長中島空将補



JAAGA Lecture by Maj. Gen. Nakashima

平成20年11月20日（木）、13：30からグランド・ヒル市ヶ谷において、空幕運用支援・情報部長中島邦祐空将補を講師としてJAAGA講演会が開催された。演題は「米軍再編と航空自衛隊の部隊運用について」と、会員の関心も高く、約100名が聴講した。

講演に先立ち司会から講師の紹介がなされた。講師は防大23期卒で、戦闘機操縦者として活躍されたあと、韓国空軍大学を履修し、韓国防衛駐在官を経て、2空団司令、南混団副司令、総隊司令部防衛部長を歴任され、平成20年8月、現職に就任された。

講師は、冒頭、当協会の常日頃からの支援等に対する感謝の言葉を述べられ、講演を開始された。はじめに、米国民が次期大統領にオバマ氏を選んだことに触れられたあと、これまでの日米協議の状況と在日米軍の再編に関する概要について整理した上で、現在航空自衛隊が取り組んでいる、あるいは今後予定している運用に関わる活動

について紹介された。

そして、ロード・マップに示された日米共同の実効性向上に係る運用面の各種施策を着実に進めるために、全力で邁進する所存であると所信を述べられ、おわりに、「JAAGAの皆様が永年に亘って築き上げられた日米の信頼関係、協力関係、人間関係は我々のみならず、日本国家としても重要であると認識しております。今後ともJAAGAの皆様には、引き続き日米関係の絆としてご尽力賜われますようお願い申し上げます。」と、講演を締め括られた。

質疑応答では会員から、沖縄における防空体制、総隊司令部の横田移転、共用飛行場の航空管制、空中給油、防衛力整備のあり方などに関する質問がなされ、時間的制約があったが講師はこれらに丁寧に回答をされた。講演終了後、会長から講師への謝辞があり、記念品が贈呈された。

(源理事記)

(詳細は、JAAGAホームページ)



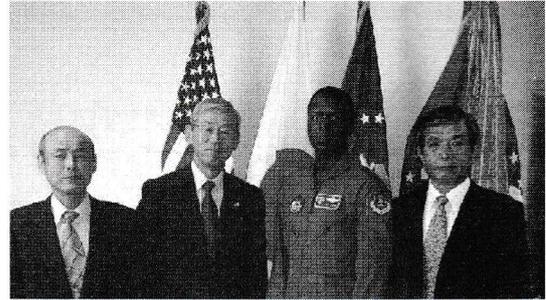
The Audience at the Lecture

第5空軍司令官ライス中将を表敬

平成20年8月11日（月）、遠竹会長と廣瀬理事長、山本理事がライス第5空軍司令官を表敬訪問した。

遠竹会長は冒頭、「本日は、JAAGA会長就任に伴う公式な表敬として訪問しました。JAAGAはエバハート第5空軍司令官のときに日米双方の諸先輩のご努力により創設され、米空軍と航空自衛隊との相互理解及び友好親善の増進を図るため、各種事業を実施してきており、本年度で創設12周年を迎えています。この間、JAAGAの各種事業を推進するに当り、第5空軍司令官をはじめスタッフの方々、そして、三沢・横田・嘉手納基地司令や関係者の皆様の多大なご支援を得ており、これまでのご尽力に感謝しますとともに今後ともよろしく願います。また、9月には、新生つばさ会代表団として、米空軍協会の年次総会に参加しますが、このことについてのご支援にも感謝します。」と挨拶した。

ライス司令官は、「米空軍は、日米同盟の重要性を理解しており、第5空軍副司令官、三沢・横田・嘉手納基地司令には、優秀な人材を配置しています。そして、それぞれ日本勤務を経て米空軍で活躍しています。JAAGAの活動は、米空軍と航空自衛隊の相互理解と友好親善のため大変効果的であると思っ



Courtesy visit to Lt. Gen. Rice

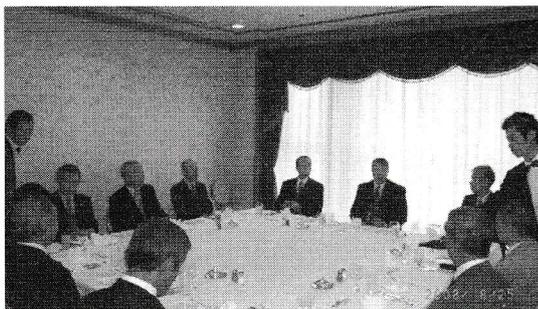
ています。」とコメントされた。

廣瀬理事長からJAAGA事業計画等が渡され、「特に、米空軍の皆様には日本の伝統文化について少しでも知っていただくため、先週、三沢基地において青森市でのねぶた祭りに案内しました。横田基地においても日光研修等を計画しており、今後、担当者間で調整します。」と説明した。

ライス司令官から、「先日、スタッフからJAAGAとの交流についての報告がありました。それぞれの行事は大変大切であり、そして、それに至るまでの担当者レベルでの調整過程も非常に大事であると思っています。JAAGAの活動で何かあれば何時でも言ってきて下さい。」とコメントされた。

(山本理事記)

名誉会員ヘスター元大将歓迎昼食会



Welcome luncheon for Gen. Hester

平成20年8月25日（月）、来日中の元在日米軍司令官でJAAGA名誉会員のヘスター元大将（太平洋

空軍司令官を最後に2008年1月退官）との歓迎昼食会がJAAGA有志主催により実施された。本昼食会はヘスター元大将の多忙なスケジュールを調整して頂いて実現したものであり、JAAGAからは竹河内前会長、遠竹会長、廣瀬理事長を始め、11名の会員が元大将を囲んで和気藹々の会となった。元大将からは三沢の航空団司令時代、第5空軍司令官時代、そして太平洋空軍司令官時代のお話があり、日本の友人、航空自衛隊との思い出話は尽きず、あっという間に時間が過ぎた。

(堀理事記)

SPORTEX '08A 開催



SPORTEX'08A at Tama Hills Golfcourse

年度2回実施されるSPORTEXの本年度第1回目の08Aが平成20年9月5日(金)、米軍多摩ヒルズ・ゴルフ・コースにおいて行われた。JAAGAから遠竹会長以下正会員及び賛助会員の計46名、米軍からはライス第5空軍司令官をはじめ38名の日米双方合わせて84名がコンペに参加した。ボランティアの大会支援者を加えると90名であり、年度第1回目のSPORTEXとしては過去最高の参加者数となった。

開会式で遠竹会長が「皆さん、本大会への参加、有難うございます。多摩ヒルズのスタッフにはコース・コンディションを整えて頂き感謝します。雷雨の予報もありますが、このままの天気が続いてくれると思います。楽しくプレーしましょう。」との挨拶があった。引き続きライス司令官から「着任以来二度目の参加ができることを嬉しく思います。最良の友人であるJAAGAの皆様と一緒に過ごせることを米側の参加者を代表してお礼申し上げます。前回と違い今回は天気に恵まれており、友好の為に楽しく頑張りましょう。Hit straight and long!」との挨拶があった。更に賛助会員を代表して、米海兵隊員の御子息を持つ湧上会員から「本大会に参加でき大変光栄です。80前後だと言われるライス司令官

に負けないように皆さんと一緒に楽しく頑張りたい。」との挨拶があり、SPORTEX'08Aの開始となった。

雨上がりの涼しい風が吹くコンディションの中、日米混合の各組は、7時のホーンの合図で一斉にスタートした。参加者は、友好親善に努めつつ、天候の回復とともにスコアを伸ばし、快適なラウンドを楽しむことができた。

プレーを終え昼食・歓談の後、表彰式が行われ、優勝、準優勝、ベスト・グロス、ニア・ピン等に賞品が贈られた。そのほか20位毎の飛び賞と最下位賞があり、多くの賞品授与に大きな歓声が上がった。

最後に、会長が「今日は天気に恵まれて、楽しんでいただけたものと思います。改めて、ライス司令官始め米軍からの参加と、ゴルフ場スタッフ及びボランティアの早朝からのご支援によりこのような機会が持てたことに感謝します。明日から訪米しますが、名誉会員の皆さんへの土産話にしようと思います。来年3月にまた会いましょう。」と挨拶し、ライス司令官が「最高の一日を提供してくれた皆さん、そしてゴルフ場スタッフに感謝します。次回のSPORTEXが楽しみです。」と挨拶され、多大の成果を上げたSPORTEX'08Aは閉会となった。

(原田理事記)

平成20年度・新生つばさ会/JAAGA訪米研修



Honorary members & JAAGA delegation
in Washington DC

「新生つばさ会/JAAGA」の日米友好親善行事として恒例となった訪米研修は、平成20年9月7日から9月18日までの計12日間、遠竹郁夫JAAGA会長を団長に、堀好成理事、新野修会員計3名で、太平洋軍司令部（ハワイ）、太平洋空軍司令部（ハワイ）、教育訓練空軍司令部（テキサス）を訪問、その後、ワシントンDCで越智通隆JAAGA副会長、永岩俊道会員が合流して計5名で、AFA年次総会出席に合わせて空軍省、日本大使館等を訪問する日程で行われた。

それぞれの訪問先において、AFA会長、駐米大使、米空軍現役将官、JAAGA名誉会員である歴代第5空軍司令官等多くの方々、さらには防衛駐在官、連絡官、入校中の隊員たちと交流の場を持つことができ、日米友好親善、そして日米ブルー・ユニフォームの交流の深化・信頼醸成等、訪米研修の目的を十分に果たすことができた。

最初の訪問地ハワイでは、空港到着時に太平洋空軍副司令官ホステイジ少将の出迎えを受け、チャンドラー太平洋空軍司令官とは会食も含め4回の懇談の機会を得る等、米側の今次訪米団に対する歓迎の気持ちと関心の高さを十分に受け止めることができた。

その後、第13空軍司令部、太平洋軍司令部を訪問、それぞれアターバック中將、トム陸軍少將を表敬しコマンド・ブリーフィングを受け、意見交換を行った。ハワイでの滞在間、松下太平洋空軍司令部連絡

官と本郷第13空軍司令部連絡官には多大なご支援をいただいた。

ホノルル空港を出発し約10時間後、デンバー経由で船石、兵藤両連絡官の待ち受けるサンアントニオ空港に到着した。早速「Gateway to the Air Force」として知られるラックランド空軍基地に移動。夕刻、DLI（国防省語学研修所）入校中の陸・空自隊員そして連絡官と夕食を共にし、米国での生活や英語に関する苦労話を聞く等、交流・激励の機会を持った。

翌日、ラックランドに所在する第37訓練団とDLIを訪問した。第37訓練団では団司令パトリック少将のご案内で術科教育と新兵教育の現場を研修した。

午後はDLI司令ジョーンズ大佐のご案内で教育施設を研修。併せて長年にわたって多くの自衛隊員を受け入れて教育していただいていることに感謝の意を伝えラックランドにおける日程を終了した。

ランドルフ基地に移動後、ヘスター前太平洋空軍司令官ご夫妻のお招きでサンアントニオ近郊にあるご自宅を訪問した。

サンアントニオ3日目は、ランドルフに所在する教育訓練空軍司令部を訪問し、司令官ローレンス大將を表敬し、懇談した。その後、リクルートから各種術科教育、操縦者教育まで、そして世界規模で任務を遂行する巨大な教育訓練空軍の状況について説明を受けた。テロとの戦いの教訓から、空軍においても基本的戦闘能力向上に力を入れているとの話は印象的であった。

ワシントンDCでは、AFA年次総会開会式に出席、その後、ダンAFA会長を表敬し、懇談した。AFA年次総会では、将軍から兵士に至る多くの現役軍人、そして退役将軍、軍関係者等が一堂に会して各種イベントに参加しており、また会場に隣接する巨大な展示ホールには軍事産業各社の最新技術力を誇示するディスプレイや展示品があり、アメリカのエア・パワーの巨大さと奥の深さを垣間見ることができた。

翌日は空軍省国際部長レムキン氏、空軍参謀本部

作戦防衛副部長ランク准将を訪問し、米空軍の現状及び運用構想等を伺い、またA-2、A-3、A-5スタッフから西太平洋地域の情勢、最近の軍事情勢等の説明を受け、意見交換を行なった。

その後日本大使館に移動し藤崎駐米大使を表敬。お忙しいスケジュールの中ではあったが暖かく迎えていただき、米国情勢など貴重な話をお聞かせいただいた。大使館では陸海防衛駐在官、納富将補、江川1佐にもご挨拶する機会を得た。

ワシントンDC滞在間、空防衛駐在官、尾崎1佐と田崎2佐には多大なるご支援をいただいた。

また、エバハート元大将には数々のお力添えをい

ただいた。ご自宅でのホーム・パーティに藤崎大使、ホーリー元大将、ワスコ元中將、ライト元中將それぞれのご夫妻と共に招いていただき、旧交を温めることができた。藤崎大使には、その後引き続き公邸において夕食会を催していただき、正に今次訪米研修のハイライトとなった。

各地で熱のこもったディスカッションや懐かしい出会い、ハプニングありの「平成20年度 新生つばさ会/JAAGA訪米団」の訪米研修は多大な成果を得て無事終了することができた。

(新野会員記)

(詳細は、JAAGAホームページ)

正会員の横田基地研修

平成20年9月24日(水)、JAAGA正会員(山岡靖義団長以下21名)の米空軍横田基地の研修を実施した。

当日は、ライス第5空軍司令官が不在のため、副司令官のジェイムス少将へ山岡団長、山本渉外理事、小川企画理事が表敬訪問した。

午前中、第5空軍司令部で副司令官による概況説明を受け、その後、航空自衛隊総隊司令部等の移転工事現場で防空指揮群企画科長関岡2佐の説明を受けた。その後、基地内のバス・ツアーを実施した。

将校集会所での昼食には、第5空軍副司令官以下各部長等、第374空輸航空団司令(横田基地司令)以下基地主要指揮官等が出席された。昼食後、同所において懇親の場を設けて頂いた。

午後、第715航空機動運用群第730航空機動中隊での概要説明を受け、空港施設を見学した。AFN施設内を見学した後、横田基地司令部に移り基地概況説明を受けた。

第5空軍副司令官からは、太平洋地域の重要性、ロシア・中国・北朝鮮に関するリスク、米国の対日政策、在日米空軍の組織、今後の米空軍の主要作戦等について詳細な説明を頂いた。また、会員の質問には懇切丁寧に回答して頂いた。基地概況説明では、横田基地広報部阿部氏による横田基地命名の秘話



Regular members visit Yokota Air Base

(※)等について、興味深い話が聴けた。

天候に恵まれ、阿部氏、第5空軍司令部マクラッケン氏等のご支援で充実した研修を実施することができた。

※ 横田基地命名の秘話；太平洋戦争末期、航空偵察で無傷の多摩飛行場を発見した作戦幕僚が、地図を広げて「此処は何と言うのか(飛行場の名前を聞きたかった。)」と指さすと、情報幕僚が「横田です(地名と勘違いした。)」と答え、米軍資料での正式名称となった。指さした所が、山口・村山貯水池の南西側で、横田トンネルなどがある「横田」という地名であった。

(高杉理事記)

米空軍軍人の日光研修



Nikko tour

平成20年10月28日及び29日の両日、横田基地の米空軍軍人と家族計4名が、日光・益子方面を研修した。

本研修は、宇都宮市在住のJAAGA個人賛助会員高柳實氏のご支援で今回が4回目となる。なお、JAAGAから企画担当堀理事と小川理事夫妻が案内・世話役として参加した。行程はほぼ昨年と同様で、東北自動車道宇都宮ICで、高柳ご夫妻をはじめ支援をいただく方々の温かな出迎えを受けた。

挨拶を交わした後、高柳昌喜氏（高柳實氏の甥）と三浦日出男氏（栃木県航空協会理事、防大4期）のご案内で日光に向かい、日光杉並木、世界文化遺産の神橋（しんきょう）を車窓に見ながら移動。輪王寺傍で昼食をとった後、輪王寺、東照宮、二荒山神社を見物した。米側は日本の文化に興味津々であり、厳かな日本神道の作法も体験した。車で紅葉盛りのいろは坂を登り、華厳の滝を見物し、日本の自然美を味わった。

その後、宿泊先である宇都宮市内へ移動した。本研修をご支援していただく高柳ご夫妻、娘さんの堀川典子ご夫妻、奥様の兄の大橋氏、ご案内いただいた甥の高柳昌喜ご夫妻、三浦氏等大勢の皆様が参加して同ホテルで催された夕食会は和気藹々として盛り上がり、楽しい時を過ごすことが出来た。

翌日29日は高柳ご夫妻にもご同行頂いて、日本の歴史・文化を楽しんでもらおうと宇都宮から1時間ほどにある益子に向かい、益子焼窯元及び日本酒の造り酒屋の研修を実施した。益子焼の老舗関澤窯では窯元当主の関澤武氏の思いやりあふれる接遇で伝

統的な日本家屋と調度品、そして氏が手がけた陶器、盆栽、書道、写真など日本文化を満喫してもらった。工房ではろくろと絵付けを体験してもらったが、難しいと言いつつなかなかの出来栄えの作品を仕上げていた。関澤窯ミュージアムの見学では当主の武氏やご息子たちの作品を鑑賞し、素朴な中にも奥深い趣を持った益子焼の素晴らしさに魅せられていた。また杉玉の下がる益子市内の外池酒造店を訪問。日本酒の醸造過程を見学し、利き酒を行った。

昼食は高柳氏ご夫妻を始め関係者の方々の他、当日、益子の研修に同行、支援していただいた地元の英会話同好会の皆様にもご一緒いただき、鄙びた風情の店ですき焼きや流しソーメンなどでテーブルを囲み、大いに盛り上がった。高柳氏が「昨今、世界の経済が少しおかしくなっているが、米国は軍がしっかりしているので揺るぐことなく大丈夫だと思っている。日本の安全保障のためにわざわざ日本に来てきて汗をかいてくれている皆さんを少しでもねぎらうことが出来てこんなに嬉しいことはない。日本の地方に出かけてきていただき、ありのままの姿を見て感じていただけたら有難い。」と述べられた。この高柳さんのお気持ちを参加者はしっかり受け止めてくれたと思う。お別れの挨拶で米側からは「皆さんの心温まる歓待を受け、滅多にできない特別の貴重な体験をすることが出来ました。」と感謝の言葉が述べられた。

（小川理事記）

（詳細は、JAAGAホームページ）

'08米国独立記念日、横田基地



Independence Day 2008, Yokota Air Base

平成20年7月4日(金)、米軍横田基地において、「Independence Day, 2008 (独立記念日)」のイベントが第374空輸航空団司令ニューウェル大佐主催

により行われた。

JAAGAからは本イベントに越智・高橋・双石・源の各理事及び石川会員が参加した。記念行事は終日催されており、各種のイベントが行われていた。ゲーム、ピアノのパフォーマンス等があったり、またハンバーガー等が振舞われたりして米軍人等が家族連れで楽しんでいた。

格納庫では太平洋空軍音楽隊トレンズの迫力ある生演奏が行われ、記念祭を盛り上げていた。30度を越える猛暑であったが、米独立記念祭の雰囲気堪能した一日となった。

(源理事記)

米軍人の「ねぶた」参加を支援

平成20年8月2日(土)三沢支部は青森市で米軍人のねぶた祭り参加支援を行った。青森地方は夕方以降90%の降水予想であったためか、当初予定されていた中型バスによる参加者全員がキャンセルとなり、バスの運行も取り止めとなったが、自力参加者は張り切って出発した。

青森市の国際協力課等の支援を受けて、衣装を借り、着付けをしてもらいハネトの格好ができあがった。アメリカの人たちは身体が大きく、特に帯類は一本では足りないことも多く、着付けをする人たちも大変な作業である。基地内にあるエドグレン高校の生徒さんたちもかわいらしく着付けをもらった。

雨のため、国際交流課のハネト参加は全コースの半分で終了するとのことであったが、ねぶた初日の熱気にあおられたものか

途中でやめる人はほとんどいない状況であった。任期の関係であと1回しか参加できないのが残念だ、という米軍人のコメントが納得される熱気のある祭りであった。

(小澤三沢支部長記)



Nebuta Festival in Aomori

'08横田基地日米友好祭



2008 US-Japan Friendship Festival in Yokota

平成20年8月23日(土)と24日(日)の両日、横田基地で日米友好祭が行われ、例年のごとく米軍及び自衛隊の航空機が多数展示されていた。今年は両日とも生憎の雨模様であり、主に屋内ステージで和太鼓、エーサー、ソーラン踊り、ロック演奏、太平洋空軍バンドの演奏等が行われ、基地周辺の多くの市民も訪れていた。23日(土)、午後1時半から下士官クラブに於いてレセプションが開かれ、横田基

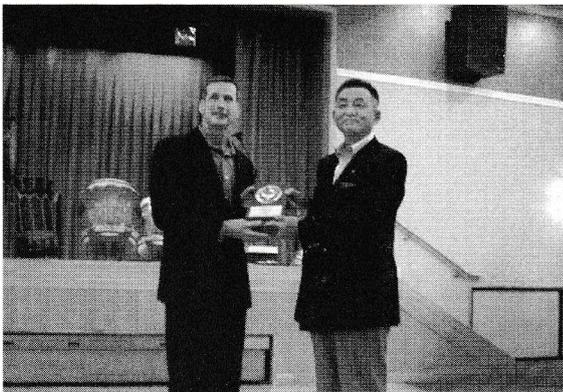
地司令(第374空輸航空団司令)ニューウェル大佐の招待によりJAAGAから越智副会長、阪東理事が出席した。また、地元友好クラブを通じて、石川・山岡両会員が出席した。軽食を楽しみながら、日米友好親善の輪が随所に出来る和やかな雰囲気のレストランであった。

途中、基地司令から「横田基地のフェスティバルに参加して頂いたことをうれしく思う。このフェスティバルを通じて横田基地の使命についてより深い理解を頂きたい。」との挨拶があった。基地周辺の友好クラブ、周辺市長の首長、入間・府中基地の空自指揮官等の紹介があったが、我々JAAGAメンバーは、最初に紹介された。

レセプションは1時間程で終わり、基地司令ご夫妻をはじめ基地の皆さんの心温まる接遇に感謝しながら基地を後にした。

(阪東理事記)

第35戦闘航空団司令オショーネシー大佐送別会



Farewell party for Col. O'Shaughnessy

第35戦闘航空団司令(米軍三沢基地司令)オショーネシー大佐の送別会が平成20年8月23日18時から22時まで約4時間三沢NCOクラブで三沢市関係者、

自衛隊関係者、米軍関係者約200名が参加して盛大に実施された。JAAGAからは丸山支部長と山本事務局長がそれぞれ夫人同伴で参加した。種市三沢市長、入澤北空司令官、米海軍基地隊司令等を来賓として日米両国国歌斉唱により厳かに開始され、歓談、大佐の思い出のスライド紹介、プレゼントと和やかに進み、最後に大佐のスピーチで幕を閉じた。JAAGAからは記念盾を贈呈した。なおオショーネシー大佐の後任には8月25日付けでネリス基地からデヴィッド・スティルウェル大佐が着任した。

(丸山三沢支部長記)

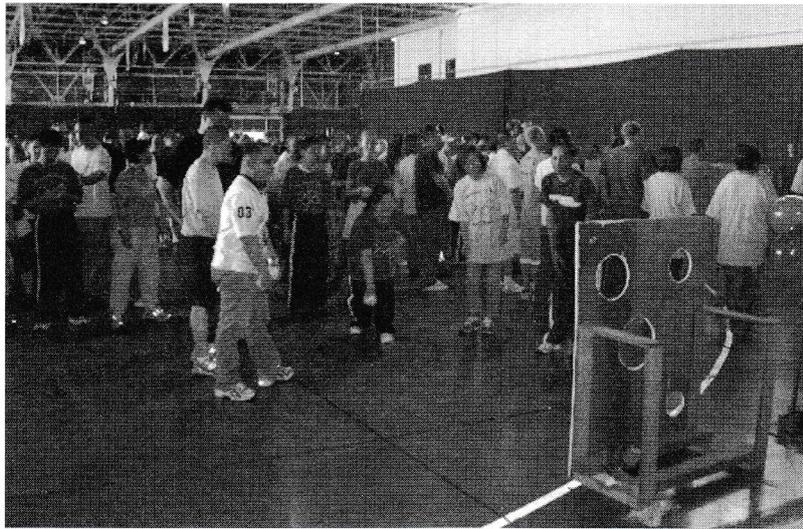
スペシャル・オリンピックスを支援

— 三 沢 基 地 —

平成20年9月13日（土）午前10時から米軍三沢基地の第949格納庫において米軍ボランティア主催による第23回スペシャル・オリンピックスが開催された。当日は秋晴れの晴天に恵まれ、米軍三沢基地司令のスティルウェル大佐の挨拶の後、青森県六ヶ所村の養護施設から招待された方々約40人と日本人ボ

ランティア約40人、主催者の米軍ボランティア約200人が昼食をはさんで各種競技に汗を流した。JAAGAからは、丸山支部長と山本事務局長が参加し、スティルウェル大佐にJAAGAからの寄付を贈呈した。

（丸山三沢支部長記）



Special Olympics, 2008

— 嘉 手 納 基 地 —

第9回嘉手納スペシャル・オリンピックスは平成20年11月8日、米空軍嘉手納基地のマクドナルド・スタジアムで開催された。第18航空団司令ウィリアムズ准将は開会の辞で「例年は6月に開催してきたが、梅雨、台風、暑さを避けるために11月8日に変更した。」と述べられた。

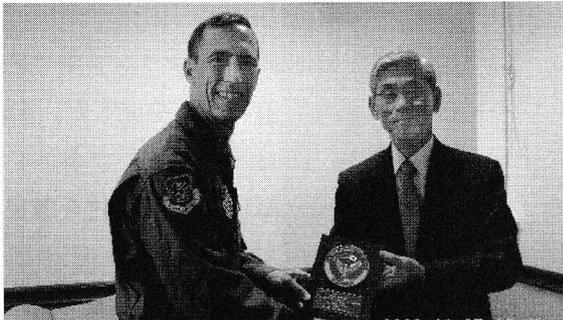
参加選手約1,200人、家族、施設職員及びスペシャル・オリンピックスのボランティア（在沖米国陸・海・空軍及び海兵隊と民間人）の約2,400人が参加した。天気予報では午後からの降雨確率が50%であったため天気が心配されたが、競技が終了するまで雨が降らず、イベントは大成功であった。選手達が全

力を傾注してゴールを目指す姿は、今年開催された北京オリンピックの選手達とは異なる感動を覚えたのは私だけではなかったと思う。競技と並行してアルベルト・シロマのライブ公演があり、大勢の観客を集めていた。また、特別ゲストとしてアメリカから脚本家・プロデューサーで俳優として活躍するトム・アーノルド氏がユーモアを交えたコメントの後に選手宣誓し、拍手喝采を受けた。

年々参加選手が増加しており、来年はさらに数を増やし、このオリンピックスがより盛大になることを祈念する。

（石津沖縄支部長記）

第5空軍副司令官への記念品贈呈



Memento to Maj. Gen. James

この度、第5空軍副司令官ジェイズ少将は中将に昇任され、カリフォルニア州バンデンバーグ空軍基地の第14空軍司令官に就任するため、平成20年11月15日に帰国された。

平成19年3月に第5空軍副司令官に着任以来、ジェイズ少将はJAAGAの各種活動に深い理解を示され、これらに対し積極的に支援をされた。平成20年11月7日、遠竹会長、広瀬理事長及び阪東理事が横田基地に副司令官を訪問し、在職間のJAAGAへのご支援に対し感謝の意を添えてJAAGA記念盾を贈呈した。

副司令官からは、JAAGAの各種活動が日米の相互理解に寄与していることに感謝の意が表された。遠竹会長からジェイズ少将の益々のご活躍と引続いてのJAAGAへの御支援、御協力をお願いして、横田基地を後にした。

(阪東理事記)

'08 エア・フォース・ボール

— 嘉手納基地 —



Air Force Ball in Kadena

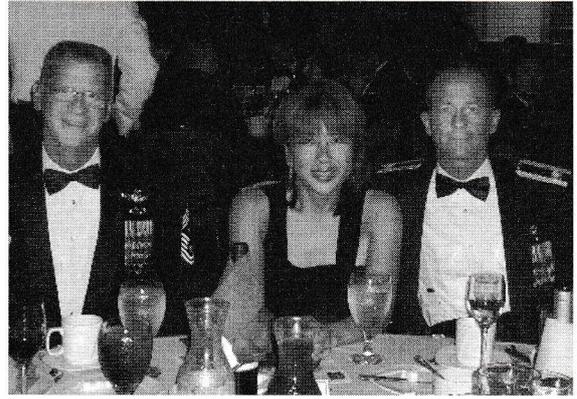
平成20年9月13日(土)、第18航空団司令ウィリアムズ准将夫妻招宴による米空軍創立61周年記念祝賀のエア・フォース・ボールが、嘉手納基地の下士官クラブのボール・ルームにおいて、夕刻6時からカクテル・タイムで開始された。沖縄4軍調整官のジルマー米海兵隊中将、近隣自治体の首長、関係者等約20名が招待され、米軍人(多くは夫人同伴)及びシビリアンの計約700名が参加した。JAAGAから会長が米国出張のため、代理として田口沖縄支部会員が出席した。また、空自那覇基地からは渡邊南

混団副司令、宮川第83航空隊司令が出席された。午後7時に出席者全員が着席し、祝賀晩餐会が始まった。米軍人に護衛された国旗の入場、横田基地所属の太平洋空軍軍楽隊員のアカペラによる両国国歌の独唱、戦場に倒れ参加できない兵士への黙祷、ケーキ・カット・セレモニー等が実施された。テーブルに着席しディナーを頂きながらの会話は弾み、大いに場が盛り上がった。ゲスト・スピーカとしてイラク戦争に3度参戦し最後の3度目に不幸にも片腕と両目を失ったクリストファー・M・スレド元2等軍曹(夫人同伴)が戦争体験や受傷時の状況、その後の生活について話をされ、多くの人に感動を与えると共に涙を誘った。スピーチが終わり出席者全員のスタンディング・オベーションで拍手が鳴りやまず祝賀会は最高潮に達した。ウィリアムズ准将の挨拶の後、米軍人全員によるエア・フォース・ソングの斉唱をもって米国空軍創立を記念するエア・フォース・ボールは終了した。

(沖縄支部田口会員記)

— 三 沢 基 地 —

平成20年9月19日（金）、米空軍三沢基地で第35戦闘航空団司令スティルウェル大佐の主催により、米空軍創立61周年を記念してのエア・フォース・ボールが開催された。JAAGA三沢支部長代理として山本事務局長夫妻が出席した。招待者として航空自衛隊から北空司令官、3空団司令及び北警団司令の3将官、山本北空幕僚長、北空司及び3空団の准曹士先任、また三沢市から種市三沢市長等が招待された。晩餐会は例年の流れに沿って実施された。来賓入場、国旗入場、国歌斉唱、お祈り、来賓紹介、戦争捕虜及び行方不明者のためのセレモニー、晩餐と続いた。スティルウェル基地司令と三沢基地の一番若い兵士の二人が空軍の創立を記念してケーキ・カットをし、晩餐が始まった。その後、在日米軍兼第5空軍上級先任下士官であるデセレイジ最上級曹長がゲスト・スピーカとして「ここ三沢基地は、三沢市民及び航

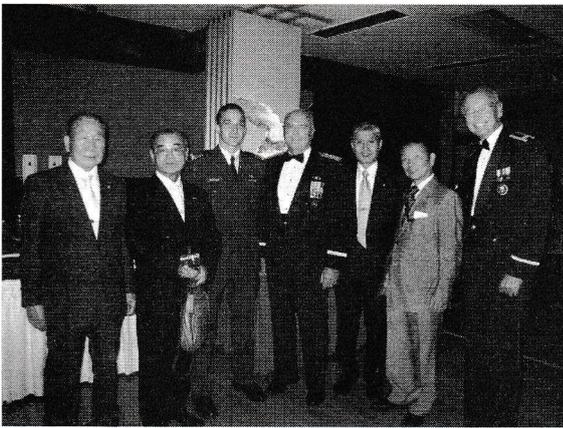


Air Force Ball in Misawa

空自衛隊との友好関係が維持されているモデル基地であり、米軍軍人及びその家族等は、皆様に感謝している」とスピーチした。最後にエア・フォース・ソングを合唱し晩餐会が終了した。その後、ダンス・タイムとなり、楽しい一夜を過ごした。

（山本三沢事務局長記）

— 横 田 基 地 —



Air Force Ball in Yokota

平成20年9月27日（土）、横田基地において第374空輸航空団司令ニューウェル大佐の主催により米空軍創立61周年を記念してのエア・フォース・ボールが実施された。JAAGAから越智副会長、源理事と山岡・石川の各会員が参加した。入間、府中基地の

各部隊から准曹士先任等が、また周辺市町の首長等が招待されていた。太鼓の轟で幕が開き、日米両国歌と米空軍歌の斉唱、米空軍創立61周年を記念して作成されたバースデー・ケーキへの入刀等のセレモニーが行われた。続いて、ニューウェル大佐から創立61周年を祝う挨拶、そしてゲストのチャンドラー太平洋空軍司令官から祝辞があり、参加者の士気を鼓舞された。その後、舞踏会となり約1,200名の参加者が美味しい料理、ケーキを味わいながらダンス、歓談等を楽しんだ。夜が更けるとともに舞踏会は終盤に近づき、参加者は三々五々、エア・フォース・ボール'08の会場を後にした。

（源理事記）

オープン・ハウス

— ライス中将主催のオープン・ハウス —

平成20年12月6日(土)16:30から、在日米軍兼第5空軍司令官ライス中将夫妻主催のオープン・ハウスが、米軍横田基地ケニーコート内の司令官官舎で実施された。当日、空幕から外菌航空幕僚長はじめ幕僚副長、各部長等が、また府中基地から織田航空支援集団司令官がそれぞれ夫婦同伴で参加しており、JAAGAからは、遠竹会長夫妻及び松田理事が参加した。他に、在日米国大使館館員、横田基地関係者等が参加しており、終始和やかな雰囲気での歓談が行われた。後半には、米軍人による生演奏が実施され、ライス司令官推奨の「It's the Most Wonderful Time of the Year」を全員で熱唱し大いに盛り上がった。最後に、ライス司令官が、「今後と

も日米関係の益々の強化・発展を祈念します。」との挨拶で締めくくり、行事は終了した。

(松田理事記)



Open House by Lt. Gen. & Mrs. Rice

— 横田基地司令ニューウェル大佐主催のオープン・ハウス —



Open House by Col. & Mrs. Newell

平成20年12月7日(日)15:00から、米空軍第374空輸航空団司令(横田基地司令)ニューウェル大佐夫妻主催のオープン・ハウスが、基地司令官舎で実施された。空自から着任早々の糸永府中基地司令が夫人同伴で参加されており、JAAGAからは阪東理事(夫人同伴)、石川会員及び山岡会員が参加し

た。他に東京都、福生市、昭島市、瑞穂町等周辺官公庁の方々に参加していた。昨年は基地友好クラブ関係の方々も同じセッションに招待され混み合った感じのパーティであったが、今回はゆったりとした雰囲気の中で和やかに歓談が行われた。テーブルに盛られた軽食も暖かく美味しく頂けるよう準備されていた。パーティの後半にはライス第5空軍司令官ご夫妻もお越しになり話が弾んだ。締めくくりニューウェル基地司令が、「基地周辺の皆さんとの友好親善はもとより自衛隊、警察、消防を含めた各官公庁とのより良い相互理解、協力関係を作り上げるために努力していきたい。」と挨拶があり閉会となった。何時もながら基地広報部、儀典部をはじめ関係者の温かい心遣いを感じつつ基地を後にした。

(阪東理事記)

ライス司令官に贈呈、日米下士官交流プログラム支援

平成20年12月17日、廣瀬理事長、奈良理事及び山本理事が、日米下士官相互研修支援のため、横田基地にライス中将を訪問した。日米下士官相互研修は、航空自衛隊の准曹が米軍基地を研修する一方、米軍の下士官が空自基地を研修するものである。米軍基地での受け入れは平成8年度から始まり、空自基地では平成17年度から始まっている。JAAGAは、平成10年度以降、「日米隊員の交流等支援」事業の一つとして、研修の円滑かつ効果的な実施に寄与することを目的として、支援を実施している。今年度は、平成21年1月～3月の1週間程度の期間、米軍が嘉手納、三沢及び横田基地で、空自が新田原、岐阜及び小牧基地で、それぞれ7名の研修者を受け入れる計画である。理事長との会話のなかで、ライス中将は、JAAGAの支援に感謝するとともに、下士官の

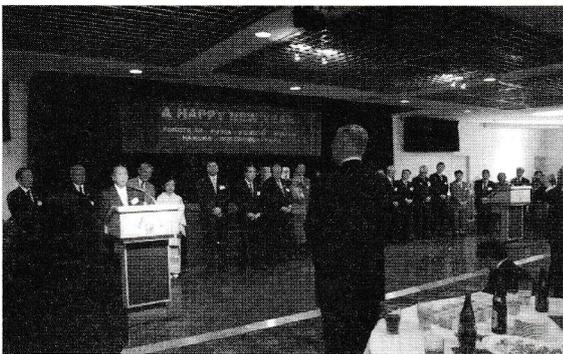


JAAGA supports JASDF-USAF
NCO Exchange Program

交流が米軍にとって非常に有益であり今後も継続実施することが重要である、との認識を示した。終始なごやかな会話が続き、予定の20分は、非常に短く感じられた。

(奈良理事記)

横田基地と近隣市町交流クラブ合同開催新年会



Joint New Year's party at Yokota Air Base

平成21年1月18日(日)、午後6時から横田基地下士官クラブにおいて「JOINT NEW YEAR'S PARTY」と称して「横田基地と近隣市町交流クラブ合同開催新年会」が催され、JAAGAからは越智副会長、高橋・阪東・源の各理事、近隣から石川会員がそれぞれ参加した。また、航空自衛隊からは入間・府中の各基地司令が招待されていた。近隣市町

交流クラブは、「福生・横田交流クラブ」、「あきる野・横田交流クラブ」、「瑞穂・横田交流協会」、「羽村・横田友好クラブ」及び「武蔵村山・横田友好クラブ」であり、昨年から5グループに増え、今年も同規模の新年会となった。

儀仗隊による国旗掲揚、尺八による日米両国家の吹奏で始められ、来賓・主催者の紹介・挨拶等が行われた。横田基地司令ニューウェル大佐からは、新年の挨拶とともに、周辺住民、自治体等からの助言・支援に感謝しており、これからも地域社会との交流・友好を大切にしていきたい旨の挨拶が行われた。その後、鏡開き、乾杯、食事・歓談、あきる野三曲会による邦楽演奏と続き、会は大いに盛り上がった。最後には「手締め」が行われ合同新年会の幕は閉じられた。

(源理事記)

… 新入会員紹介 …

1 正会員

氏名	住所	氏名	住所
石渡 幹生	東京都西東京市	落合 敏政	埼玉県入間市
田中 和之	東京都練馬区	古屋 隆二	千葉県稲毛区
冨田 修	兵庫県三田市	石井 光政	神奈川県相模原市
野田 耕平	千葉県柏市	古畑 徹	千葉県印西市

2 個人賛助会員

氏名	住所	氏名	住所
佐々木 清	青森県三沢市	加藤 岩男	千葉県木更津市
野坂 篤司	青森県三沢市	榎本 隆	埼玉県東松山市
首藤 新悟	東京都大田区		

3 法人賛助会員

法人名	住所
(有) 善衛商事	東京都千代田区

会 員 募 集

今期は関係各位のご努力で正会員8名、個人賛助会員5名、法人賛助会員1社の合計13名、1社の入会を得ることができました。会勢拡張目標を正会員300名、個人賛助会員50名、法人賛助会員50社と定め精力的に活動しておりますが、正会員数が245名(21.2.1現在)と目標にはるかに至っておりません。

今後とも、会員の皆様の勧誘、推薦、情報提供に関するご協力、ご支援を是非とも宜しくお願い致します。

なお、個人会員の入会につきましては、次のとおりです。推薦若しくは情報提供を頂いた方には直接会員担当係から連絡させていただきます。

【入会資格】

正会員：航空自衛隊のOB

個人賛助会員：航空自衛隊のOB以外の方で、正会員3名の推薦が必要です。

【連絡先】

【郵便】〒162-0842 新宿区市谷砂土原町1-2-34 KSKビル3F

日米エアフォース友好協会 会員担当 行

【電話：メール】 新井 洋一：新東亜交易(株) 03-3286-0339 yo-arai@sda.shintoa.co.jp

鬼塚 恒久：三井生命保険(株) 03-3213-0270 onitsune@w5.dion.ne.jp

正岡富士夫：三菱重工業(株) 03-6716-4319 fujio_masaoka@mhi.co.jp

編 集 後 記

新年を迎え2ヶ月が過ぎようとしておりますが、JAAGA会員、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、「だより」第35号を発行する運びとなり、今までのご愛顧に感謝申し上げます。発行を重ねるたびに少しずつ内容等が充実してまいったと自負しておりますが、更なる充実のため皆様のご意見等をお待ちしております。JAAGAは逐次発展を続けており、事業の充実や態勢の整備が進んできております。今後とも、「だより」によりJAAGAの事業を皆様に伝えていき、ご理解、ご協力、ご支援の一助となりますよう努力してまいります。ご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます。

(編集子一同)